



[I]

問1

1	<b>chosen</b>	2	<b>engage</b>	3	<b>acknowledges</b>
4	<b>dealing</b>	5	<b>threw</b>		

解説（要点のみ）

- 1 前文からの展開が「surviving でも living with cancer でもない。そうではなくて彼女は to thrive を…」なので『選んだ』が入る
- 2 「initiative は単純に始めることができることであり、つまり前へ前へと動くことに…」なので「従事する」。Involve は他動詞。
- 3 目的語に that 節をとっている時点でその動詞は「言う」「考える」に類する語。選択肢では他に define しか that 節をとらない。「リアリズムは、道中に障害や困難があるであろうということを事実と認める」が内容として適している。
- 4 「逆境に対応するときにも役に立つ」。Involve, overcome は他動詞。engage だと with ではなく in を用いる。
- 5 「人生が彼女に対して投げつける pivot」。throw to ~ だと単純に「～のほうに投げる」だが throw at だと負の感情を込める

問2

記号	ア	⇒	<b>allow</b>
	カ	⇒	<b>equivalent</b>

【講評】 問1, 問2とも、例年に比べて容易。3単現の s の付け忘れなど、形をしっかりと合わせることに注意したい。

日本医科大学 英語 2026 年度入試 （ 2/2, 2026 ） 解答②

問3

記号 い	Part 2 の2段落目、confidence の段において、傲慢と臆病が対比の概念として文構成の軸を担っており、以降も楽観と悲観などで同様に展開するから。
---------	--

問4

(1)	That means “A man, in this sentence, really think without reason that he can get some beautiful flowers or fruits or such as they want.”
-----	--

(2)	In his garden, no harvest is supposed to be gained because no seed or nursery tree is planted.
-----	--

問5

記号	う	現実的な視点のない楽観が傲慢に陥ると本文にあるため内容が逆。
	え	困難を楽しむための要素である self-efficacy の構成要素は confidence, initiative, optimism であり hard time は不要。

【講評】 問3～5 はまとめ方の問題。なお 問5 は (い) (お) (か) は本文の内容にあっているため選択不可。(あ) は、本文中に記載がないため書きにくいので選ばないほうが無難。

日本医科大学 英語 2026 年度入試 （ 2/2, 2026 ） 解答③

	問 6					問 7	問 8	問 9	問 10	問 11
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)					
通し番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
解答	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>b, d</b>	<b>a, d</b>	<b>b</b>	<b>a</b>	<b>c</b>

	問 12	問 13		
通し番号	11	12	13	14
解答	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>d</b>	<b>a</b>

[ II ]

解答例	<p>Sandy Travis faced a variety of unexpected difficulties, two of which are described in the following paragraph.</p> <p>One is placed where she had breast cancer. She no more tried to struggle against it than gave up being treated. She made her way to enjoy the new challenge, which attitude was supported by her optimism.</p> <p>Another is when she got injured in the traffic accident, in which she seems not to blame. What is worse, due to the accident, she was asked for a divorce by her husband himself. Then her initiative made her buy a new car and look for a place to live and her confidence led her to the new business, which ended up being her best business year. In both cases, her self-efficacy made her tougher, and, maybe, vice versa.</p>
-----	---

日本医科大学 英語 2026 年度入試 （ 2/2, 2026 ） 解答④

[ III ]

	問 1	問 2	問 3	問 4 (1)	問 4 (2)	問 5 (1)	問 5 (2)	問 6 (1)	問 6 (2)
通し番号	15	16	17	18	19	20	21	22	23
解答	<b>a, c, e</b>	<b>a, d, e</b>	<b>b, e</b>	<b>c</b>	<b>d</b>	<b>d</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>a</b>

	問 7 (1)	問 7 (2)	問 8 (1)	問 8 (2)
通し番号	24	25	26	27
解答	<b>c</b>	<b>b</b>	<b>b</b>	<b>c</b>

解説（要点のみ）

問 1, 2    -tion などのアクセントの位置を決める語尾や語幹を整理して、日本語とアクセントの位置が違う外来語を整理すると、5つの選択肢中4つくらいまで正確に絞れることが多いので、できれば準備を期したい。

問 3        日本人に一番わかりにくい a/o を含む複合母音なので、準備が万端でないと確実に正解するのは難しい。発音のルールの基本と例外を整理して、できるだけ例外については感覚を慣らしておきたい。

問 4(1)    自分の利益のために誰かもしくは何かを不公平に扱う行動 = 搾取 ( exploitation )

問 4(2)    ある主題もしくはテーマの徹底的な調査 = 探求 ( exploration )。なお、expedition は遠征

問 5(1)    誰かもしくは何かを (今よりも) 劣ったポジションに置くこと = 下位に置く ( subordinate )

問 5(2)    不十分な情報に基づいて真実であると受け取ること = 推測する ( speculate )

問 6(1)    例えば怒ったり恥ずかしかったりするときに顔が赤くなること = 赤面する ( flush )

問 6(2)    誰かもしくは何かにかたくつかまること = しがみつく ( cling )

問 7(1)    何かの不可欠な一部である状態 = 不可欠な ( integral )

問 7(2)    損傷をしていない完全な状態 = そっくりそのまま ( intact )

問 8(1)    行動や状況がポジティブからネガティブへ変わること = 転落 ( descent )

問 8(2)    小さな石で、しばしば小道や道路の表面に使われるもの = 砂利 ( gravel )

日本医科大学 英語 2026 年度入試 （ 2/2, 2026 ） 解答⑤

- 【総評】 記号選択問題は比較的容易。日医の合否は、記述のウェイトが大きくなるが、“your own word” という指定は、受験生が思う以上に大きなポイントなので、型にはめて小さくまとめに行かないよう。
- 記述の解答例は一般的な解答例よりも砕けた形にしてみたが、解答のポイントはずらさないようにしつつ、表現は独創的であるよう、常々から心がけよう。